

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ フィリピン株式オープン

第11期（決算日 2018年3月7日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2012年9月28日設定)
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年3月7日および9月7日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
7期 (2016年3月7日)	円 9,196	円 0	% △8.5	% 94.3	百万円 3,205
8期 (2016年9月7日)	9,238	0	0.5	95.9	2,941
9期 (2017年3月7日)	9,149	0	△1.0	96.9	2,555
10期 (2017年9月7日)	9,410	0	2.9	97.9	2,757
11期 (2018年3月7日)	9,241	0	△1.8	97.6	2,450

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

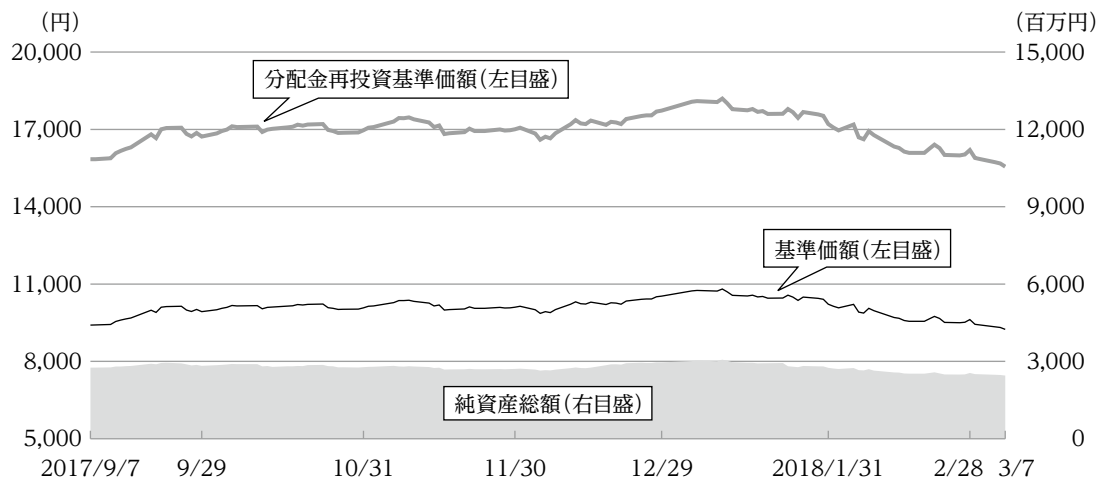
年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2017年9月7日	円 9,410	% -	% 97.9
9月末	9,932	5.5	97.4
10月末	10,077	7.1	96.3
11月末	10,099	7.3	98.3
12月末	10,531	11.9	97.1
2018年1月末	10,221	8.6	98.3
2月末	9,623	2.3	97.7
(期末) 2018年3月7日	9,241	△1.8	97.6

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2017年9月8日～2018年3月7日)



第11期首	9,410円
第11期末	9,241円 (既払分配金0円)
騰落率	-1.8% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

上昇要因

・税制改革の進展などを背景にフィリピン株式市場が上昇したこと。

下落要因

・フィリピンペソ安円高となったこと。

フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は上昇しました。期初はドゥテルテ大統領が進める税制改革法案の審議進展への期待などを背景に良好なセンチメントが継続し、フィリピン株式市場は堅調に推移しました。2017年10月中旬から11月にかけては高値警戒感から利益確定売りが優勢となりましたが、12月に入ると欧州大手格付会社フィッチがフィリピンの長期債格付けを引き上げたことなどが好感され、株式市場は上昇に転じました。12月下旬には税制改革法が成立し、また外国人投資家から資金流入が見られたことから2018年1月末まで堅調な推移が続き、2月に入ると米国長期金利の上昇を背景に米国株式が大きく下落したことを受けて、フィリピン株式市場も連れ安となりました。その後も通貨ペソ安への懸念などから上値の重い展開が続き、期末まで軟調に推移しました。

為替市場

フィリピンペソは経常収支の悪化懸念などを受けて対米ドルで下落しました。また対米ドルでの円高進行を背景に、フィリピンペソは対円でも下落しました。

国内債券市場

2017年9月末に米国債利回り上昇や日本国債格下げの可能性が報道されたことから、日本国債利回りは一時上昇（価格は下落）しましたが、その後は手掛かり材料難の中、12月末にかけてもみ合いとなりました。2018年1月には、世界的な株高、原油高を背景としたリスク選好の強まりや超長期国債買い入れオペの減額などから利回りは上昇しましたが、2月に入り、米国の長期金利の急上昇を受けて世界的に株価が急落し、リスク回避姿勢が強まったことから、日本国債利回りは再び低下（価格は上昇）しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「フィリピン・エクイティ」といいます。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄

柄の組入れを減らしました。当期は業績成長への期待が高まったことで株価が上昇した持株会社SM Investmentsなどの保有がプラス要因となりました。一方で業績への懸念が強まった通信会社PLDTなどの保有がマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第11期	
	2017年9月8日 ~2018年3月7日	
当期分配金 (円)	(円)	—
(対基準価額比率) (%)	(%)	—
当期の収益 (円)	(円)	—
当期の収益以外 (円)	(円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	(円)	1,400

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

フィリピン・エクイティ

フィリピン経済は、底堅い内需や投資の増加に支えられ、今後も健全な財政状況の下で力強い成長が期待されます。ドゥテルテ政権が進める外資規制の緩和やインフラ整備などの政策により更なる投資拡大が期待され、経済成長をけん引するものと見られます。一方で、フィリピン株式市場は、世界の株式市場の動向など外部要因から影響を受ける局面が見込まれます。また、投資家のリスク回避姿勢の強まりが重石となる可能性もあり注意が必要と考えられます。今後も投資環境の変化

に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となった優良銘柄に選別投資を行う方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

日銀の金融緩和を背景に、今後も日本国債利回りは低位で安定的に推移するものとみています。しかし、国内債券市場では市場の流動性が低下しており、海外金利の動向などで市場が一時的に不安定化する可能性もあり注意が必要です。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1万口当たりの費用明細

(2017年9月8日～2018年3月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	67円	0.669%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,080円です。
(投信会社)	(26)	(0.257)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(40)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.044	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(2)	(0.016)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(3)	(0.028)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	71	0.713	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

売買及び取引の状況

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 ルクセンブルグ籍	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			93	2,200	210	4,900

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2018年3月7日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 4,636	千口 4,636	千円 5,040	% 0.2
合 計	4,636	4,636	5,040	0.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口 1,126	千口 1,009	千米ドル 22,597	千円 2,386,739	% 97.4
合 計	1,126	1,009	22,597	2,386,739	97.4

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2018年3月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 5,040	% 0.2
投 資 証 券	2,386,739	96.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	83,766	3.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,475,545	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(2,386,739千円)の投資信託財産総額(2,475,545千円)に対する比率は96.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年3月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=105.62円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年3月7日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,475,545,191円
コール・ローン等	83,764,683
投資信託受益証券(評価額)	5,040,656
投資証券(評価額)	2,386,739,852
(B) 負 債	24,963,324
未 払 解 約 金	5,115,636
未 払 信 託 報 酬	18,625,997
未 払 利 息	211
そ の 他 未 払 費 用	1,221,480
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	2,450,581,867
元 本	2,651,907,427
次 期 繰 越 損 益 金	△ 201,325,560
(D) 受 益 権 総 口 数	2,651,907,427口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,241円

(注1) 元本の状況

期首元本額 2,930,617,536円

期中追加設定元本額 574,711,522円

期中一部解約元本額 853,421,631円

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2017年9月8日 至2018年3月7日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 36,125円
支 払 利 息	△ 36,125
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 67,376,836
売 買 益	61,298,605
売 買 損	△128,675,441
(C) 信 託 報 酬 等	△ 19,848,218
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 87,261,179
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△209,932,797
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	95,868,416
(配当等相当額)	(245,310,867)
(売買損益相当額)	(△149,442,451)
(G) 計 (D+E+F)	△201,325,560
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△201,325,560
追 加 信 託 差 損 益 金	95,868,416
(配当等相当額)	(245,310,867)
(売買損益相当額)	(△149,442,451)
分 配 準 備 積 立 金	126,153,416
繰 越 損 益 金	△423,347,392

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(245,310,867円)および分配準備積立金(126,153,416円)より、分配対象収益は371,464,283円(10,000口当たり1,400円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、フィリピンの企業の株式または株式関連商品に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	フィリピンで設立または上場している企業ならびにフィリピンにおいて主に事業展開を行っている企業の株式および株式関連商品	
ベンチマーク	PSEi Index (フィリピン総合指数) ※ ¹	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S.A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.25%	
管理費用等	年率0.25%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) ※ ²	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.216% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※¹ PSEi Index (フィリピン総合指数) は、フィリピン証券取引所が公表している指数です。

※² ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2016年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

2016年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期初純資産	65,046,349
収益	
配当金	817,455
預金利息	1
収益合計	817,456
費用	
運用報酬	349,289
管理費用	35,428
保管銀行費用	12,629
取引手数料	61,020
管理・名義書換代行事務費用	23,334
監査費用、公告・印刷費用	700
税金	8,882
借越利息	220
役員報酬	342
その他費用	(178)
費用合計	491,666
純投資収益（損）	325,790
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）	(1,957,657)
外国為替先渡取引に係る実現純利益（損）	158,373
外国為替に係る実現純利益（損）	(122,071)
実現純利益（損）	(1,921,355)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額	(1,439,340)
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額	91
未実現評価益（損）の純変動額	(1,439,249)
運用による純資産の純増加額（減少額）	(3,034,814)
資本金の変動	
投資証券の発行	29,489,012
投資証券の解約	(45,856,706)
当期の純資産の変動額	(19,402,508)
期末純資産	45,643,841

投資有価証券明細表（2016年12月31日現在）
（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	取得金額	評価金額	対純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場 で取引されている譲渡可能な有価証券					
株式					
Philippines					
Aboitiz Equity Ventures Inc	1,639,990	PHP	2,166,892	2,335,656	5.12
Aboitiz Power Corp	685,700	PHP	612,631	575,181	1.26
ABS-CBN Holdings Corp	55,530	PHP	48,953	49,149	0.11
Alliance Global Group Inc	3,841,800	PHP	1,866,481	987,643	2.16
Ayala Corp	158,189	PHP	2,427,358	2,324,508	5.09
Ayala Land Inc	5,454,200	PHP	4,073,788	3,510,876	7.69
Bank of the Philippine Islands	1,202,087	PHP	2,552,839	2,147,254	4.70
BDO Unibank Inc	1,049,169	PHP	2,253,594	2,365,841	5.18
DMCI Holdings Inc	2,713,950	PHP	749,800	723,902	1.59
East West Banking Corp	2,283,651	PHP	1,171,589	851,675	1.87
Energy Development Corp	8,353,550	PHP	1,271,318	865,392	1.90
Filinvest Land Inc	18,391,826	PHP	694,884	566,045	1.24
First Gen Corp	2,559,537	PHP	1,247,947	1,132,710	2.48
First Philippine Holdings Corp	685,110	PHP	1,248,293	935,760	2.05
Globe Telecom Inc	18,715	PHP	719,103	568,085	1.24
GT Capital Holdings Inc	51,745	PHP	1,132,446	1,321,924	2.90
International Container Terminal Services Inc	556,640	PHP	1,122,154	805,637	1.77
JG Summit Holdings Inc	1,886,090	PHP	2,471,637	2,566,638	5.62
Jollibee Foods Corp	180,370	PHP	732,329	703,883	1.54
LT Group Inc	2,290,000	PHP	906,020	578,575	1.27
Manila Electric Co	104,820	PHP	654,847	558,759	1.22
Megaworld Corp	7,914,400	PHP	712,624	568,356	1.25
Metro Pacific Investments Corp	9,949,900	PHP	1,243,157	1,332,992	2.92
Metropolitan Bank & Trust Co	1,267,962	PHP	2,362,790	1,851,729	4.06
Petron Corp	610,000	PHP	110,570	122,092	0.27
PLDT Inc	77,720	PHP	4,461,342	2,134,027	4.68
Robinsons Land Corp	1,039,950	PHP	595,752	543,902	1.19
San Miguel Corp	202,640	PHP	344,872	376,237	0.82
Security Bank Corp	259,330	PHP	1,294,040	991,153	2.17
Semirara Mining & Power Corp 'A'	209,970	PHP	564,912	549,079	1.20
SM Investments Corp	360,598	PHP	4,635,563	4,751,153	10.41
SM Prime Holdings Inc	5,850,875	PHP	2,682,247	3,336,632	7.31
Universal Robina Corp	547,470	PHP	1,887,324	1,800,581	3.94
Vista Land & Lifescapes Inc	8,990,313	PHP	1,036,684	895,188	1.96
			<u>52,056,780</u>	<u>45,728,214</u>	<u>100.18</u>
株式合計			52,056,780	45,728,214	100.18
投資総額			52,056,780	45,728,214	100.18
その他負債				(84,373)	(0.18)
純資産				<u>45,643,841</u>	<u>100.00</u>

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2017/2/28 ～2018/2/26		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.215%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,879円です。
（投信会社）	(15)	(0.140)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.054)	
(b) その他費用	1	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	24	0.228	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2018年2月26日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 648,000	千円 704,487	% 97.8	% —	% 41.2	% 43.9	% 12.6	
合計	648,000	704,487	97.8	—	41.2	43.9	12.6	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第112回 利付国債（5年）	%	千円	千円	
	第298回 利付国債（10年）	0.4	40,000	40,068	2018/06/20
	第300回 利付国債（10年）	1.3	10,000	10,118	2018/12/20
	第301回 利付国債（10年）	1.5	8,000	8,139	2019/03/20
	第305回 利付国債（10年）	1.5	25,000	25,536	2019/06/20
	第306回 利付国債（10年）	1.3	7,000	7,182	2019/12/20
	第310回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,634	2020/03/20
	第310回 利付国債（10年）	1.0	25,000	25,728	2020/09/20
	第311回 利付国債（10年）	0.8	50,000	51,200	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	26,100	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,886	2021/06/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	42,395	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	53,709	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	43,397	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	32,197	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	55,068	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	50,420	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	23,052	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	43,959	2025/06/20
第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	64,850	2026/03/20	
第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	59,842	2026/09/20	
合 計			648,000	704,487	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。